

# さくらマネー通信 No.73

2023年  
8月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

## 特集 会社員が加入する社会保険は4種類！

会社員は自営業よりも社会保険が手厚いと言われる。今回は会社員が加入する社会保険についておさらいしてみましょう。会社員が加入する社会保険は以下の4種類です。

### ◆健康保険

病気やけがの治療費や、それに伴う休業、出産、死亡などに対する給付を受け取れる。40歳になると介護保険にも加入し、介護が必要になったときには給付を受け取れる。保険料は原則、会社が半分負担する。

### ◆厚生年金保険

国民年金保険に加え厚生年金も受け取れる。障害者認定を受けると障害年金を、死亡時には遺族厚生年金の給付もある。原則、保険料は会社が半分負担する。

### ◆雇用保険

失業したときの失業手当の他、育児や介護で休業し給与がもらえないときには、給付金を受け取れる。会社と社員の負担割合は業種により異なる。

### ◆労災保険

仕事や通勤中の事故や災害が原因として病気やけがをした場合、その治療費、休業補償、死亡したときには遺族年金などの給付金を受け取れる。保険料は全額会社負担となる。



## ? マネークイズのコーナー

成人が加入できるNISA口座には、現在、一般NISAとつみたてNISAの2種類があります。では現在NISA口座の口座数はどのくらいなのでしょう？

- 1 513 万口
- 2 1,237 万口
- 3 1,804 万口



(答えは裏面にあります！)

## 今月のお知らせ

8月の風物詩のひとつ、高校野球「夏の甲子園」ですが、実は第2回と第3回大会には敗者復活制度がありました。

第3回大会である1917年夏に出場し初戦で敗れた愛知一中が、敗者復活で勝ち上がり優勝したため、この年限りで敗者復活制度は中止となったそうです。



## コラム 住宅ローン金利、変動と固定では基準となる金利が異なる！

変動金利は固定金利よりも金利が低いので「まず変動で借りて、金利が上がったら固定に変えればいいかな？」と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、実際はそう簡単ではありません。変動金利と固定金利はそれぞれ基準となる金利が異なり、動きも異なります。

◆変動金利：短期プライムレートが基準。短期プライムレートとは、銀行が優良企業に期間1年未満で貸出す最優遇金利のこと。日本の金融政策に連動する。

◆固定金利：10年物国債の金利が基準。10年物国債は世界中で取引されているため、マーケットの動きに連動する。

短期プライムレートは日銀の金融緩和政策の影響を受けるため、金融緩和政策が続く限り低金利が続くと考えられます。一方、10年物国債の金利は投資家の需給関係や世界情勢の影響を受けるため、金利の動きが速く、日本だけでコントロールできるものではありません。つまり、変動金利が上がりはじめたときには、既に固定金利は上昇しているのです。そうなると、うまいタイミングで変動から固定に変更することは、かなり難しいと考えられます。

変動金利と固定金利は基準となる金利が異なるということ。そして通常、固定金利の方が先に動くということは覚えておきましょう。



## A マネークイズの答え

正解：3

金融庁の調査によると、2022年12月末時点のNISA口座（一般NISA、つみたてNISA合計）は1,804万口座。

来年から新NISAが始まると、益々口座数が増えるかもしれませんね。



## 編集後記

### 事業主・経営者の労災は？

事業主や経営者の方が業務中の事故でけがをしたら労災保険は適用されず、全額自己負担となります。

でも、一定の条件を満たせば、労災保険の「特別加入制度」に加入ができます。何かあった場合も踏まえて、この機会にご自身の補償を一度見直してみるのもよいですね。

発行

合同会社さくらコンフォートライフ 鈴木 博幸

資産運用でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

お問い合わせは [suzukihiro@h8.dion.ne.jp](mailto:suzukihiro@h8.dion.ne.jp) まで！

